

日本使える学習法の会 活動ご報告書

2007年10月31日付

第1号

私たちの意図は、単に少数の生徒たちを救うことで
はありません。私たちの意図は、20世紀の教育の衰
退すべてを180度転換させることです。

L.ロン ハバード

代表者からのメッセージ

青く澄み渡る空を見上げ、秋の訪れを楽しんでいます。
現在、当会は栃木県から沖縄県まで9つのセンターを設置し、勉強の技術やコミュニケーションの技能を提供しております。この10ヶ月間で学校や企業での提供も含め85以上のワークショップやレクチャーが各地で行われ、約3,000名にご参加いただきました。これもひとえに皆様方のご支持あってのことと厚く感謝しております。今後も一人でも多くの方に当会の勉強の技術をお知らせし、学ぶ楽しさを実感していただけるようメンバー一同、心を合せて頑張ってまいります。これからもよろしくご支援を賜りたくお願い申し上げます。

非営利任意団体 日本 使える学習法の会
事務局長 大田啓予

生徒の方々のサクセストーリー

『学び方がわかる本』で学んだことを活かして

私は高校の国語の授業に、『学び方がわかる本』の勉強法を実践しました。評論文の最初の授業の時に、生徒に辞典を使って語の意味を調べさせ、例文を作らせました。意味調べをする語は、評論文の要旨の中で生徒がわからないと思うものを私が選びました。そして、評論文の要旨を私が矢印やイコールなどを用いて図式化し、生徒に文章の流れが理解しやすいようにしました。また、要旨の中で特に大切なところ、また理解しにくいところは絵や物を用いて説明しました。誤解語を作らないよう、またマスがない状態にならないよう工夫しました。

多くの生徒から授業がわかりやすいという言葉をもらいました。ある生徒は、今までの国語の授業の中で一番わかりやすいと言ってくれました。とても嬉しかったです。（沖縄センター）

ベーシック・スタディ・マニュアル・コースを終えて
最初に自分の中に壮大な目標を立て始めたのですが、途中、誤解語があって時間がかかるてしまい、落ち込んでもがきました。
途中の挫折にも、手を差しのべて下さったインストラクター、関

わった方々に感謝しています。

このコースを修了できたことは非常に嬉しいし、自分に能力があったと、褒めることができました。

途中、生理的現象があらわれ、その誤解語が処理されるとスッキリすると言う・・自分自身で体験し、どんなに素晴らしい技術であるかが、よくわかりました。

この技術を適用して、自分自身を高め、今後も努力し続けていくうと思います。（長野センター）

お知らせ(セミナー等の告知)

[教育講演会のおしらせ]

* 11月12日(火) 19時～21時

沖縄県沖縄市農民研修センター2階 会議室

「学習支援の在り方」

～生涯学習社会の推進を視点として～

講師：学びの支援コンソーシアム理事 代田恭之氏

～一人ひとりの子供を大切にする実践例～

岡山理科大学教授 西村次郎氏

* 11月13日(水) 19時～20時30分

沖縄県総合福祉センター 視聴覚室

<子どものための「学びと進学」>

激変する大学と進学実態

講師：学びの支援コンソーシアム 理事 代田恭之氏

[発売されました!] ~親子で楽しむ学び方~



¥1980+税金

世界のベストセラー・Learning How To Learn、待望の邦訳化です!!

2007年10月までの活動のご報告



第43回 関西商業教育研究大会にて、
商業高等学校で行われている当会のコミュニケーションをとりいた
授業を発表、また大阪府教育弘済会に応募した教育論文が入選いた
しました。



兵庫県のある短大では、保育士を目指す学生への講義として
勉強の技術が提供されています。2007年に入ってすでに4回行わ
れ、多くの学生が役に立つ知識だとアンケートに答えています。

「勉強の技術の公開レクチャー」のご報告

(8月3日および23日)



この公開レクチャーでは、最後にトム・クルーズのスピーチをDVD
で視聴していただきました。レクチャー終了には涙を流して感謝
の言葉を述べてくださったお母さんも数人いて、何かができると
いう希望と勇気を持つお手伝いをさせてもらったように思った
忘れられない出来事となりました。このレクチャーで書籍『親子
で楽しむ学び方』の紹介も行い、小学校教諭の方も含めて数冊の
予約注文をいただきました。

参加者の感想（抜粋）

- * もっと子供を観察しながら一緒に学ぶことが大切だと改めて感じました。
- * 学習は難しい、嫌だとすぐイメージしていたが、楽しく学ぶとのイメージに変わりました。
- * つまずきの排除がとても大切なことであると知った。またそれは辞書を活用すること改善されるということを聞いて、授業に取り入れてみようと思います。

書籍「親子で楽しむ学び方」ワークショップのご報 告（2007年9月）

6月末から沖縄県うるま市で「学習サポート・ボランティア養成講座」を開いております。この講座は大和証券福祉団体助成事業として採用され、学習サポートチームかかゆまが主催し、うるま市社会福祉協議会とうるま市教育委員会の後援を頂いて行っています。

講座では勉強の技術を中心に、コミュニケーションの技能やしあわせへの道を使った德育も含めています。9月に入って、勉強の技術の教材として『親子で楽しむ学び方』を使い、すでに3回のワークショップを行いました。

受講者の感想

- * 回数を重ねるにつれて「う~ん」となるものの楽しい！なんとい
っても楽しい。難しいのに楽しいって何でだろう？という感じですが、
きっと学び方を体感できているのだと思います。まさに壁にぶつかった
ときの心理などは、実感したところです。残りの回も貴重なので楽しみ
ながら吸収できるものはすべて吸収するという意気込みで頑張ります。
- * 学ぶということは難しいことではない、学びたいと思うことは何でも
学べる、ということがわかりました。勉強するということが楽しくな
ってきそうです。
- * 今回はじっくりと初步的なことから復習でき楽しかったです。「学ぶ
力」をこれからも付けていきたいと思いました。最近では辞書を引くこ
とが多くなり、わからないままにしておくと気持ちが悪いです。いい傾
向ですよね。

